

平成18年9月21日

横浜市長 中田 宏 様

金沢区米軍施設建設・返還跡地利用対策協議会  
会長 横井 正 巳

## 池子住宅地区及び海軍補助施設(横浜市域)における 家族住宅等の基本配置計画案について(要望)

### はじめに

当協議会は、平成16年12月、米軍施設建設及び返還跡地利用等について協議し、地元の意見・要望を関係機関に対し適時・的確に伝えることにより、地元の意向を最大限に反映させることを目的に、設立いたしました。

さる平成18年8月17日、当協議会に対し「池子住宅地区及び海軍補助施設(横浜市域)における家族住宅等の基本配置計画案」が示されたことを受けて、地元の意見を踏まえ、協議会の要望としてまとめたものです。

### 今回要望書を提出する主旨

先般、横浜防衛施設局より示されました配置計画案のみでは、検討材料としては乏しく、現段階で全ての要望をまとめることは困難です。この問題はスタートしたばかりであり、今後周辺住民をはじめ区民から様々な意見が出されるものと認識しております。

しかし、当協議会としては、今回の配置計画案、そして、今後具体的に示される様々な計画に対して、地元の意見をとりまとめながら、その都度意見表明をしていく必要があるという観点から、今回は配置計画案に対して最低限要望していくべきと判断した項目についてまとめております。

横浜市においては、池子米軍住宅を受け入れざるを得ない苦渋の選択をしている金沢区民の意見・要望を深く受け止め、横浜防衛施設局との調整をすすめていただきたく、お願いいたします。

また、池子地区への住宅建設計画が進む一方で、金沢区内に残された富岡倉庫地区など米軍施設が早期に返還されるよう、国に強く働きかけていただくとともに、旧小柴貯油施設の跡地利用にあたっては、国の協力について特段の働きかけをお願いします。

### 要望項目

#### ①緑の保全について

今回の配置計画案では、横浜市との事前協議を受けて、改変面積を全体の1/2に抑えています。しかし、緑は面積だけではなく、その質も重要であり、今後行われる環境調査の結果を踏まえ、現在の生態系をできる限り残すことを求めます。また、やむを得ず改変される部分についても、敷地内の緑化等を行い、緑の再生を図るよう努めていただきたい。

#### ②道路・交通問題

今回の配置計画案では、土砂の搬出は表土程度という説明でしたが、それに要する工事車両は決して少ないものではなく、さらに建築資機材の搬出入、工事従事者の車両、そして、住宅建設後の生活車両等、周辺交通に対する負荷は小さいものではないため、既存道路の使用を前提とした工事着手は、周辺住民の理解が得られるものではありません。

したがって、周辺住民の生活に十分配慮し、都市計画道路横浜逗子線の整備等を含めて必要な対策を講じていただきたい。

### ③建物の高さ

今回の配置計画案では、建物の上部が稜線を越えて、周辺の住宅から見える高さとなっていますが、当地区周辺の区界は自然の稜線に囲まれた地形となっており、当協議会としては、自然の稜線から建物の上部が見えることは景観上ふさわしくないと考えています。したがって、建物の上部が稜線を越えることのないよう、地盤高及び建物の配置や高さ等について一層の工夫を図っていただきたい。

### ④住民への計画周知

今回は、配置計画案のみが示されましたが、住宅施設等の建築工事概要、緑・自然環境の保全策、土砂等の搬出入量、工事関係車両の台数や動線、生活車両の想定台数等が明確になった時点で、早期に当協議会に説明し、その意見を尊重するよう要望します。

更に、周辺住民に対して適時、適切に情報を提供するよう要望します。

### ⑤飛び地の早期返還と跡利用への全面的な協力

飛び地については早期に返還していただきたい。また、飛び地返還後、周辺住民と米軍住宅居住者との交流が円滑にすすむよう、跡地利用等について、全面的に協力していただきたい。